

【ソフトテニス部】

男子

■地区総体■

小松・齋藤ペア、村上・吐生ペア 予選1位 県大会出場、団体戦2回戦敗退

■県総体■

小松・齋藤ペア 2回戦敗退、村上・吐生ペア 1回戦敗退、団体戦1回戦敗退

女子

■地区総体■

齋藤・佐藤（彩）ペア、小野寺・西城ペア 予選1位、佐藤（風）・尾形ペア 予選2位 県大会出場 団体戦1回戦敗退

■県総体■

齋藤・佐藤（彩）ペア、小野寺・西城ペア 2回戦敗退、佐藤（風）・尾形ペア 1回戦敗退、団体戦1回戦敗退

【剣道部】

■地区総体■

女子個人 小野寺南生 1位、及川美幸 3位

■県総体■

*男子*団体 対 宮城農業高 2-3

対 宮城水産高 3-2

リーグ2位 予選敗退

個人 愛田 智基 2回戦敗退

村上 洋介 1回戦敗退

*女子*団体 対 涌谷高 1-3

対 名取高 0-5

リーグ3位 予選敗退

個人 小野寺南生 2回戦敗退

及川 美幸 3回戦敗退

【サッカー部】

■県総体■

対 尚綱学院 1-6 2回戦敗退

「さわらび つつじ 花の綾」

校長 小野 泰治郎

職員玄関前の花壇には自然科学部が植えたジャガイモが青々とした葉を茂らせています。毎日、朝と放課後、部員が一生懸命手入れをしているので、強い日差しのもと、虫の害もなく元気に育っています。最初、玄関前にジャガイモと聞いたときは、花壇に合うのかなと思いましたが、よく見ると控えめではありますが、小さな紫の花もなかなか素朴で可憐です。野菜のイメージとは違い、鑑賞対象としても悪くありません。何より、毎日丁寧に世話をする生徒の姿を見ていると、こちらもその成長ぶりが気になって、出勤時に確かめるのが楽しみになりました。植物の旺盛な生命力から、活力を少しわけてもらっている毎日です。

春に本校に着任して以来、本校の魅力の一つである自然環境の素晴らしさに日々癒されています。敷地の周辺には松林や雑木林が広がり、地区の人々の散策コースになっています。朝は校地内を雉が散歩し、春には様々な山菜も採れます。開校当時、その環境のすばらしさは「さわらび つつじ 花の綾」と、校歌に歌い込まれました。その自然の豊かさ、美しさは、今も変わらず訪れる人を和ませてくれます。それに加えて、この30年の間に様々な植物が植えられ、それぞれに大きく育ち、自然林と調和しておだやかな教育環境を提供しています。明るく元気で優しい生徒達は、このような自然が豊かでおおらかな環境だからこそ育っているようです。

今年、「動く生徒会」をスローガンとした生徒会の皆さんが、週2回昇降口前に立ち、朝の挨拶運動を展開しています。また、定期的にボランティア活動として、学校周辺の清掃活動をおこなっています。人と環境がよく調和し、「豊かな創造力と真摯な共感とをもって、自然と人間を愛し、公共を重んじる」(教育目標より)若人が、開校以来、今も確かに育っていることを大変嬉しく思います。

進路指導室だより — 3学年の諸君へ—

高校生活総決算の総体が終わり、いよいよ進路実現に邁進する時期になりました。人生は、切り替えのタイミングが大切といわれますが、まさにその時期にさしかかったわけです。学校としても、前期中間考査終了を機に、指導体制を強化します。「総合的な学習の時間」は、しばらく進路別に展開します。各種の講習が開始され、小論文・作文の個別指導も始まります。例年、講習を活用して合格通知を手にした卒業生が多いので、忍耐強く取り組んでください。

進路指導室の仕事は、進路実現を支援する環境作り、そして個に応じた情報提供や相談・アドバイスです。ただ、進路設計は、個別に取り組む性格上、実現のための基本的な努力や情報収集には各自の自覚が不可欠です。希望やあこがれとともに、要求される学力や資格、家庭的条件など、客観的に自分を見つめる姿勢が求められます。寄せられる相談内容のポイントが絞られていれば、スタッフとして一層的確な資料提供や助言を行うことができます。さらに、本人の意向に加え、家族の理解と合意が不可欠です。親子の意思疎通の有無が今後の進路スケジュールに響きますので、話し合いの機会を大切にしてください。7月の保護者面談が有意義な形で実を結び、先に進むステップになることを期待します。

(進路指導部長 佐々木)